

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0411	まなび交流学習事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

複式学級に在籍する児童に、集団で行う実技教科を体験させる。

《事業開始の背景》

すべての児童に発達段階に応じた適切な学びを提供することが市の使命であることから、この事業を開始する。

《事業概要》

○まなび交流学習
小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

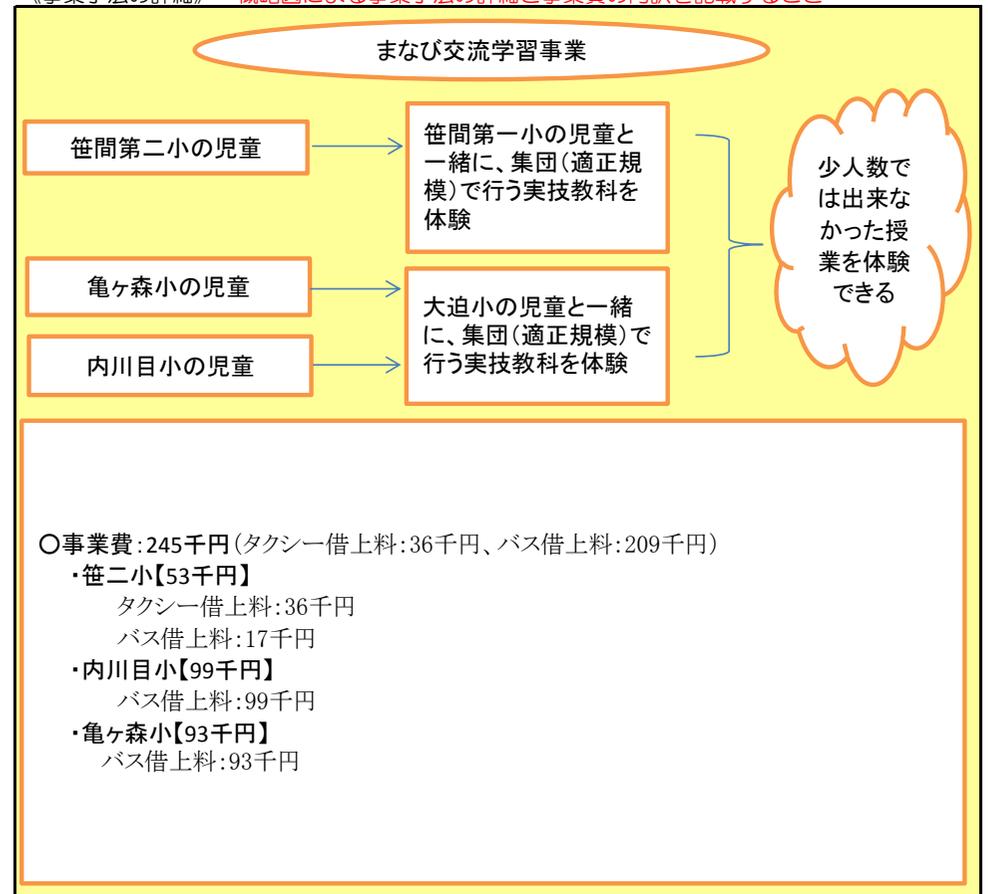
《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 授業を受けて良かったと考えた児童の割合	%	目標		80.0	80.0
		実績		97.5	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当課長	(内線)
人づくり	教育部	小中学校課	菅野 広紀	9-30-331

事業費	25年度決算	当初(現計)	補正	年度	年度
	245				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	245			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



まなび交流学習事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0411	まなび交流学習事業

総合計画	政策 4	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策 4-2	活力と特色ある学校教育の充実
目的	複式学級に在籍する児童に、集団で行う実技教科を体験させる。			
対象	複式学級に在籍する児童及び複式学級を有する学校の児童			
意図	すべての児童に発達段階に応じた実技教科の授業を体験させる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○まなび交流学習
小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 後援・協賛 実行委員会・協議会 補助・助成 事業協力・協定 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 交流回数	回		計画		4	4
			実績		4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 授業を受けて良かったと考えた児童の割合		%	目標		80.0	80.0
			実績		97.5	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

対象校間で授業内容等を吟味し実施できたことが、児童の満足度につながった。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

複式学級を有する学校から、ある程度の人数が必要な合唱や集団スポーツなどの実施が難しいとの声があった。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	すべての児童が発達段階に即した教育を受けられるようにする事業である。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	各校の校内事情を鑑みながら進めていくため、年々調整が図られ向上の余地がある。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	児童の移動に係る輸送費であり削減の余地はない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	すべての児童が発達段階に即した教育を受けられるようにする事業である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

本事業により、小規模校では体験できない集団活動を行うことができ、特にも体育の球技や水泳、総合的な学習における発表会、児童会行事等で楽しく交流活動をしていた。内容については、教員から多くの意見が寄せられており、年々グレードアップすることが可能な事業である。